

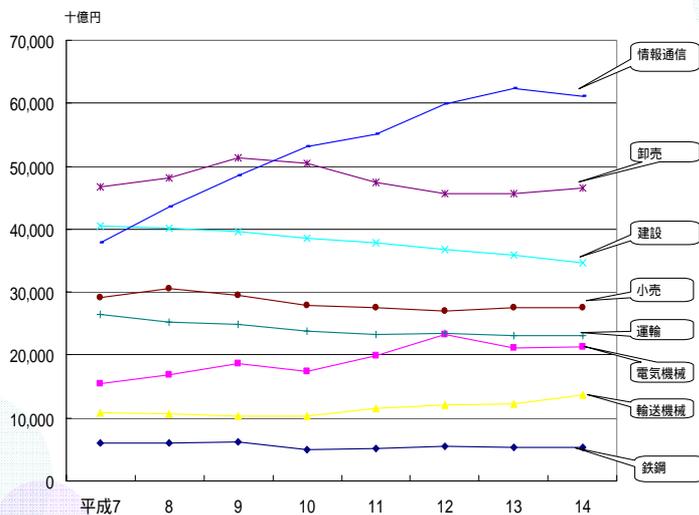
放送大学大阪学習センター  
大阪市総合生涯学習センター

# 情報と社会 - ユビキタスネット社会の未来 -

2006年2月2日(木)

放送大学教授  
林 敏彦

## 情報通信産業の産業規模



出所:平成16年版『情報通信白書』

# ユビキタスネットワーク



(出典) 「ネットワークの現状と課題に関する調査」



# ユビキタスネットワーク社会



(出典) 「ユビキタスネットワーク社会の国民生活に関する調査」



## 19～20世紀の6大発明

- 鉄道
- 電灯・電動モーター
- 内燃機関
- 石油化学
- 第1次情報通信
- 都市衛生インフラ

## 新科目のシラバス

1. 人・社会・技術(東倉洋一)
2. ユビキタス情報社会(今川拓郎)
3. 情報化と消費(坂井素思)
4. 情報と消費社会(坂井素思)
5. 情報経済の構造(林 敏彦)
6. 情報と民主主義(山岡龍一)
7. 情報の保存と利用(天川 晃)
8. プライバシーと個人情報保護(砂押以久子)

## 新科目のシラバス

9. 企業の情報管理をめぐる法律問題(砂押以久子)
10. 情報と都市(浅川達人)
11. グロス・ナショナル・クール(中村伊知哉)
12. 子どもの創造性(中村伊知哉)
13. 通信と放送の融合(柏倉康夫)
14. 情報と思想(柏倉康夫)
15. 情報社会の未来(柏倉・林・中村)

## テクノロジーと人間

- 五感からXセンスへ
- コンピュータは空気と同じに
- 角砂糖に世界の歴史
- 地球ブレイン
- 小さな巨大テクノロジー

# ユビキタス情報社会

- 消費社会への影響
- 産業への影響
- 市場制度への影響
- コミュニケーション革命
- 政治への影響
- 文化・思想への影響
- 人類を幸せにするか

# 経済への影響

- 産業構造の変化
- あらゆる経済活動のインフラ
- 市場制度への挑戦
- 経済学への挑戦
- 交換学と至富学
- 過敏経済
- グローバル化とローカル化

## デジタルコンテンツの特徴

- 音楽、映画、教育コンテンツ等、発注、配達、決済、消費がすべてネット内で完結。
- オリジナルの製作には費用がかかるが、完璧な複製の製作にはほとんど費用がかからない。



通常の市場ではゼロ価格。

## コンテンツビジネス

社会

コンテンツ創造



供給



収益

# 考えられるビジネスモデル

モデル	コンテンツ料金	コスト負担	例
第3者負担			
民間放送	無料	スポンサー	商用ウェブサイト
芸術家育成	低額	パトロン	大原孫三郎
芸術家育成	低額	政府	京都市交響楽団
販売			
クラブ	有料	受信者	iモード
直収	有料	受信者	ベイ・パー・ビュー
発表			
電話	有料	送信者	カメラ付き携帯
シェア			
専門ジャーナル	有料	送信者と受信者	フィジカル・レビュー

## 政治への影響

- 電子政府
- 新しい直接民主制
- 劇場型政治から熟議型政治へ
- 危機の重層化
- ネットワーク効果
- ロックイン効果
- 参加と協働

## 社会問題の解決

- 少子・高齢社会(社会保障、生産性向上)
- 安全・安心対策(災害、犯罪、テロ、感染症)
- 働き方の多様化(モジュラー型、テレワーク、デジタルエンパワーメントと社会参加)
- 非営利団体(福祉、教育、文化、地域社会)

## 文化・思想

- 情報と思想
- 新たな文化環境の形成
- 画一化と多様化
- 自然と情報
- 新しい想像の共同体
- 新たな価値の発見
- 幸せの真の意味

## ユビキタスで幸せか

- いい社会のシナリオ  
民主主義、効率的行政、効率的意思決定と生産、消費者の復権、新たな価値の創造、新たな文化の発展、連携と生きがいの創造
- わるい社会のシナリオ  
過敏で不安定な社会、デジタル・デバイド、民族・言語・宗教への反動的傾倒

## 通信・放送の在り方に関する懇談会(大臣懇)

### 検討内容

1. 国民の視点から見た通信・放送の問題点
2. 通信と放送の融合・連携の実現に向けた問題点
3. それらの問題が生じる原因
4. 通信・放送及びいわゆる融合・連携のあるべき姿
5. 望ましい行政の対応のあり方

## 通信・放送の在り方に関する懇談会(大臣懇)

### 構成員

久保利英明(弁護士)

菅谷 実(慶應大学教授)

林 敏彦(スタンフォード日本センター理事長)

古川 享(元マイクロソフト会長)

松原 聡(東洋大学教授)

宮崎哲弥(評論家)

村井 純(慶應大学教授)

村上輝康(野村総研理事長)

## 情報社会の未来

- 未来から現在を振り返る
- 情報社会の光と影
- 未来の選択
- サステナビリティの幻想
- 充実した人生を